

2027年5月期 第1四半期
決算説明資料

2026年10月7日

2027年5月期 第1四半期実績 前年同期比 増収増益

✓ 売上高は約114億円増収

アルミ地金市況に連動した売上の増加、価格改定、国際事業における為替影響に加えて、自動車分野を中心とした物量の増加により増収。

✓ 営業利益は約38億円増益

諸資材の価格上昇などの影響があったものの、価格改定や粗利改善、国内外におけるコスト削減の効果などにより増益。

3ヵ月累計（2026年6月～2026年8月）

	2027/5期 1Q実績	2026/5期 1Q実績	前年同期比		(億円)
			増減額	%	
売上高	972	858	+ 114	+ 13.3%	
営業利益	26	▲ 11	+ 38	—	
営業利益率	2.7%	▲ 1.4%	—	+ 4.1p	
経常利益	24	▲ 12	+ 36	—	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	15	▲ 6	+ 22	—	

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

売上高

972 億円

前年同期比

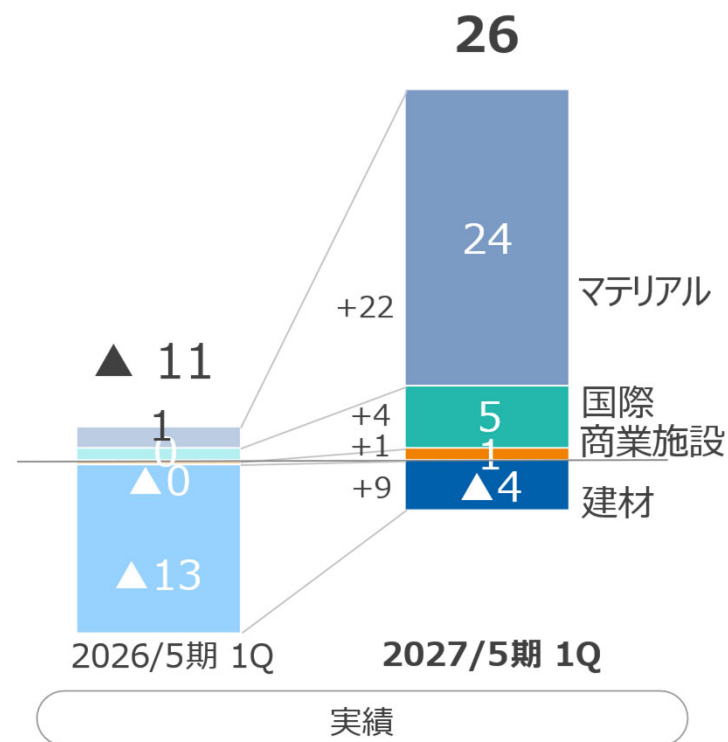
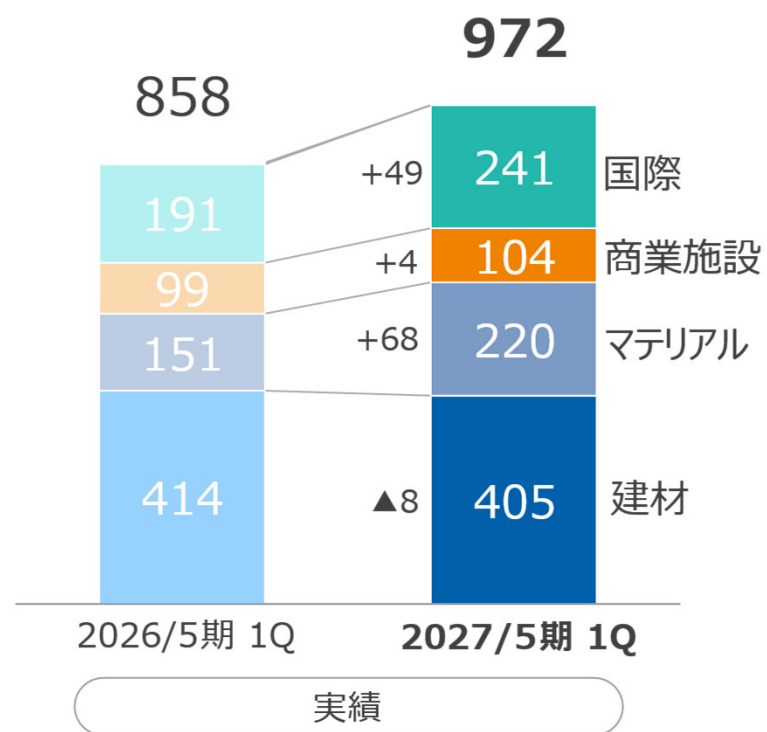
+ 114 億円
(+ 13.3%)

営業利益

26 億円

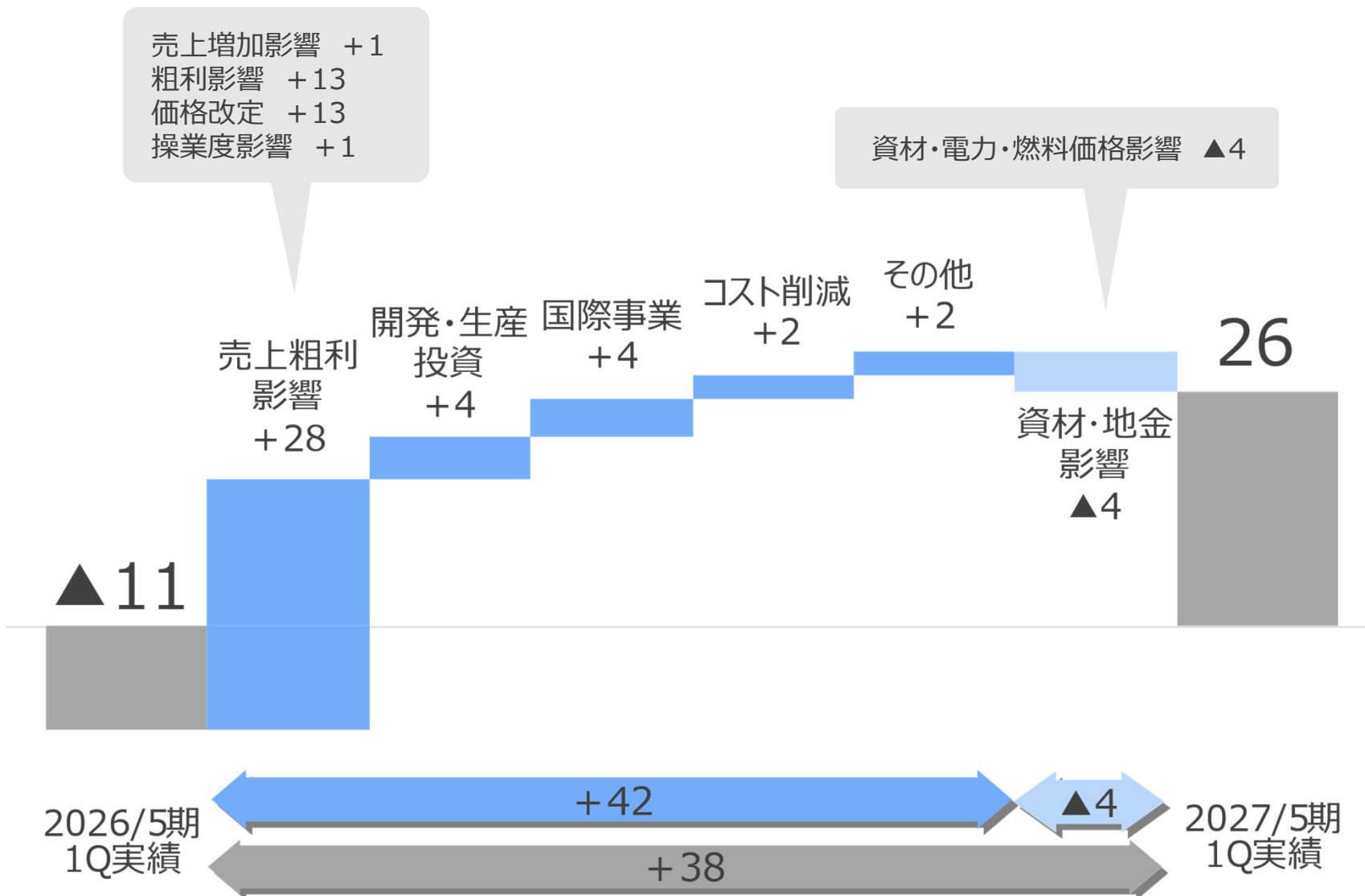
前年同期比

+ 38 億円



※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

2027/5期 第1四半期 営業利益 増減要因（前年同期比）



※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約
 ※金額は億円未満切り捨て表示

NEDO「アルミニウム再生地金製造技術開発事業」に採択 「樹脂付きサッシ」分別技術を研究開発、循環型社会へ貢献

三協立山株式会社、アサヒセイレン株式会社、学校法人早稲田大学は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）による「アルミニウム再生地金製造技術開発事業」の採択を受け、「樹脂付きサッシの分別技術の研究開発」を開始。

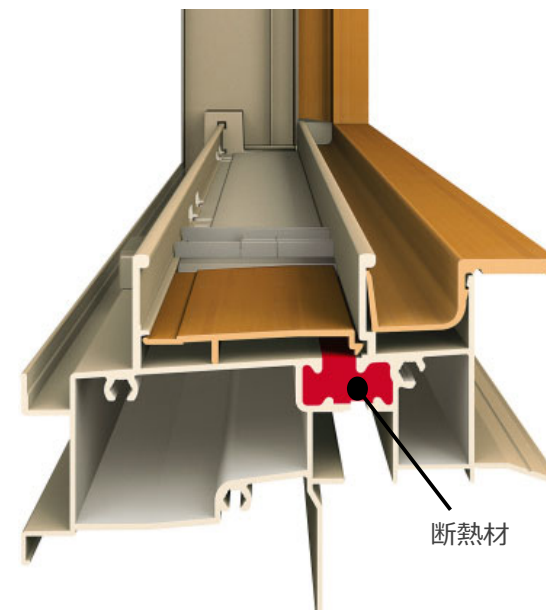
主な内容

- 研究開発の背景
市中スクラップ※は、断熱材といった樹脂などの異材質が混在するため、アルミニウムの分別回収が困難
- 「アルミニウム再生地金製造技術開発事業」の概要
市中スクラップを原料に展伸材※として再利用可能なアルミニウム再生地金※の製造プロセスの確立を目指す事業
- 「樹脂付きサッシの分別技術の研究開発」の概要
2028年度末までに、市中スクラップ中に含まれる展伸材の90%以上を、再利用可能な品質で回収できる高度選別技術を開発

※市中スクラップ：使用済みで不要になったアルミニウム製品のくず

※展伸材：圧延や押出により、板や棒、管などの形状に加工する材料で、高い純度が求められる

※アルミニウム再生地金：使用済みアルミニウム製品をリサイクルして作られたアルミニウムの原材料



今後は本研究開発を通じて、高品質なアルミニウム再生地金を安定的に供給する技術の確立を目指し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

● ニュースリリース ➡ <https://www.st-grp.co.jp/news/2026news/st20260629.html>

2027年5月期 第1四半期（2026年6月～2026年8月） 商品リリース一覧

2026年6月

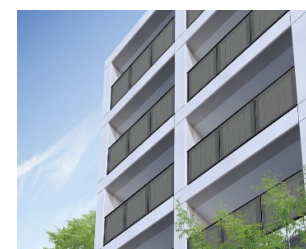


建材事業

太陽電池一体型アルミ手すり
「FINEMASTERSOLA（ファインマスターソーラ）」発売

<特長>

- ・美しい外観と創エネを両立する太陽電池一体型アルミ手すり
- ・様々なメーカーやサイズの太陽光パネルに対応
- ・共用部のコスト削減や防災対策に貢献



太陽電池一体型アルミ手すり
「FINEMASTERSOLA」

2026年7月

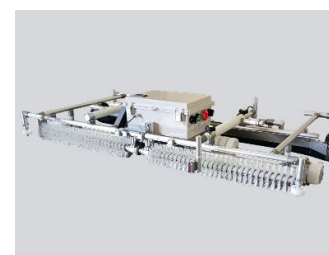


領域拡大

水耕栽培プール自動清掃機
「プールクリーナー」発売

<特長>

- ・水耕栽培施設に特化した高機能設計
- ・清掃に関わる作業時間の大幅軽減を実現



水耕栽培プール自動清掃機
「プールクリーナー」



水耕栽培プールを用いた
植物工場

●ニュースリリース（建材事業／三協アルミ社）➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2026news/om20260630.html>

●ニュースリリース ➡ <https://www.st-grp.co.jp/news/2026news/st20260715.html>

	対象期間	2024年	2025年	2026年
【建材事業（住宅）指標】 新設住宅着工戸数	4月-6月	20.9万戸 (0.5%増)	15.5万戸 (25.6%減)	18.7万戸 (20.2%増)
新設住宅着工戸数[持家]	4月-6月	5.4万戸 (6.0%減)	4.2万戸 (23.4%減)	5.1万戸 (21.6%増)
新設住宅着工戸数[貸家]	4月-6月	9.0万戸 (2.9%増)	6.8万戸 (24.3%減)	8.5万戸 (24.3%増)
【建材事業（ビル）指標】 非木造建築物着工床面積	4月-6月	16.2百万㎡ (3.2%減)	14.3百万㎡ (11.2%減)	13.0百万㎡ (9.3%減)
【マテリアル事業指標】 アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く]	6月-8月	8.8万 t (0.6%減)	8.1万 t (7.6%減)	8.9万 t (9.8%増)
【商業施設事業指標】 建築着工棟数[店舗]	4月-6月	1,382棟 (1.8%減)	1,712棟 (23.9%増)	1,680棟 (1.9%減)
【国際事業指標】 ドイツ自動車生産台数	4月-6月	105.2万台 (2.4%減)	109.0万台 (3.5%増)	104.1万台 (4.4%減)
タイ自動車生産台数	4月-6月	34.7万台 (16.1%減)	37.4万台 (7.6%増)	34.7万台 (7.0%減)
【アルミ地金価格平均値】 [日本経済新聞より]	6月-8月	451.7円/kg	455.2円/kg	656.8円/kg

（ ）は前年同期比

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'26/5期	'27/5期	増減		'26/5期	'27/5期	増減	
1Q	414	405	▲ 8	▲ 2.1%				
2Q								
3Q								
4Q								
'27/5期 通期計画					1,710			

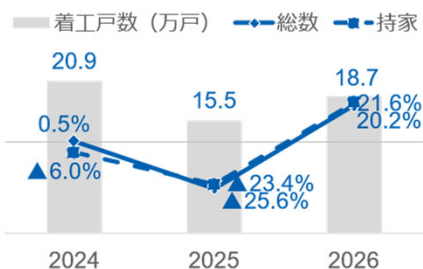
セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'26/5期	'27/5期	増減		'26/5期	'27/5期	増減	
1Q	▲ 13	▲ 4	+ 9	-				
2Q								
3Q								
4Q								
'27/5期 通期計画					15			

高断熱スリム窓「STINA（エスティナ）」の拡販やリフォーム需要の獲得に注力したものの、新築およびリフォーム分野ともに販売は低調に推移し、売上高は前年同期比で減少しました。営業利益は地金価格上昇の影響を受けたものの、価格改定や粗利改善など収益構造改革の推進により、前年同期比で増加となりました。

事業環境

新設住宅着工戸数
(前年同期比)



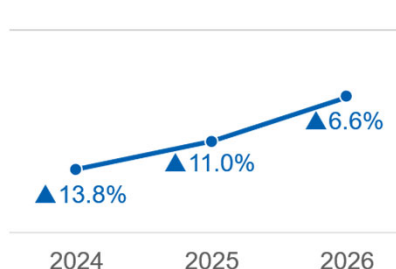
出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

非木造建築物着工床面積
(前年同期比)



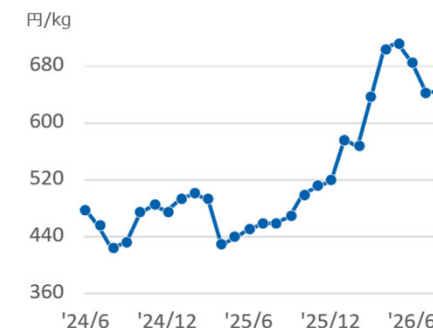
出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

ビル用アルミサッシ販売重量
(前年同期比)



出典：経済産業省 生産動態統計

※4～6月累計 アルミ地金価格[日経平均]



出典：日本経済新聞

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

3ヵ月実績				実績累計			
	'26/5期	'27/5期	増減	'26/5期	'27/5期	増減	
1Q	151	220	+ 68	+ 45.2%			
2Q							
3Q							
4Q							
				'27/5期 通期計画			
				900			

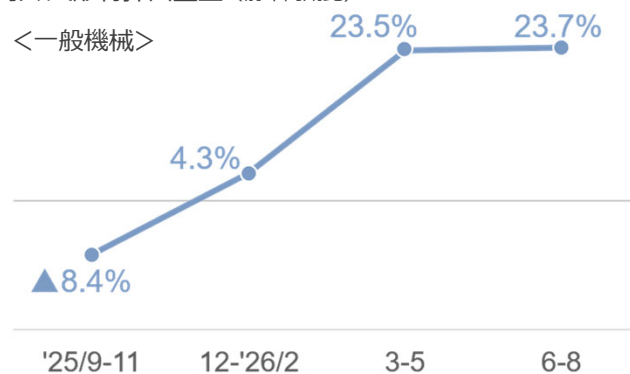
セグメント利益

3ヵ月実績				実績累計			
	'26/5期	'27/5期	増減	'26/5期	'27/5期	増減	
1Q	1	24	+ 22	+ 1348.8%			
2Q							
3Q							
4Q							
				'27/5期 通期計画			
				18			

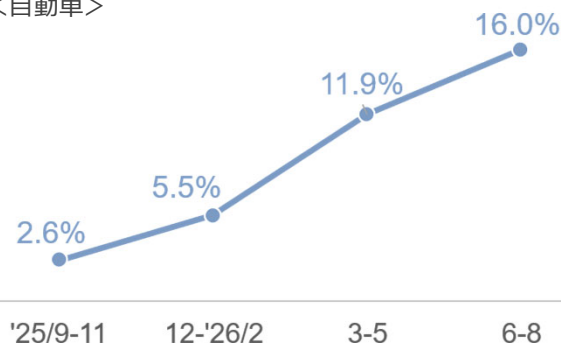
注力領域である自動車を含む輸送分野をはじめとした販売量の増加や、アルミ地金価格に連動した販売価格の上昇により、売上高は前年同期比で増加となりました。営業利益においても、物量増加の影響に加えて、価格改定やアルミ地金の在庫評価影響などにより、前年同期比で増加となりました。

事業環境

国内アルミ型材押出重量（前年同期比）



<自動車>



出典：日本アルミニウム協会統計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'26/5期	'27/5期	増減		'26/5期	'27/5期	増減	
1Q	99	104	+ 4	+ 4.8%				
2Q								
3Q								
4Q								
'27/5期 通期計画					450			

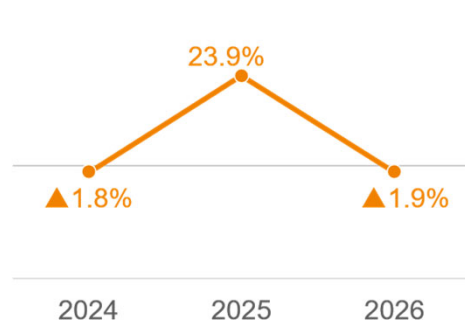
新規出店や店舗改装需要を取り込んだことにより、売上高は前年同期比で増加となりました。営業利益においても、物流費・調達コストの抑制など収益改善施策を継続したことにより、前年同期比で増加となりました。

セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'26/5期	'27/5期	増減		'26/5期	'27/5期	増減	
1Q	▲ 0	1	+ 1	-				
2Q								
3Q								
4Q								
'27/5期 通期計画					7			

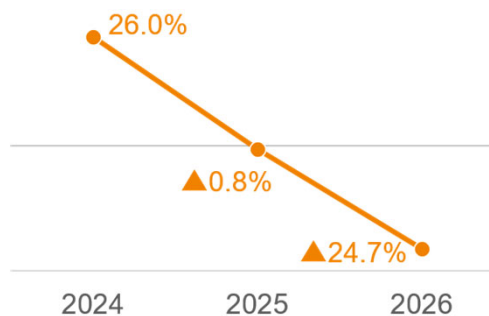
事業環境

建築着工棟数[店舗] (前年同期比)



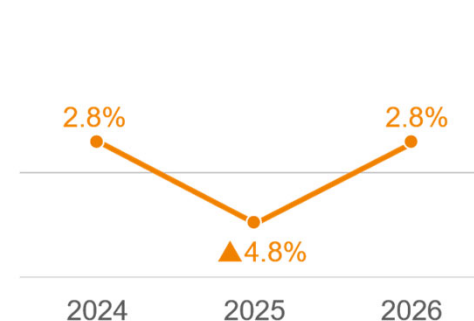
出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

非居住用建築物着工床面積[店舗] (前年同期比)



出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

小売業販売額 (前年同期比)



出典：経済産業省 商業動態統計調査

※4~6月累計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績			実績累計		
	'26/5期	'27/5期	増減	'26/5期	'27/5期	増減
1Q	191	241	+ 49 + 26.0%			
2Q						
3Q						
4Q						
'27/5期 通期計画				840		

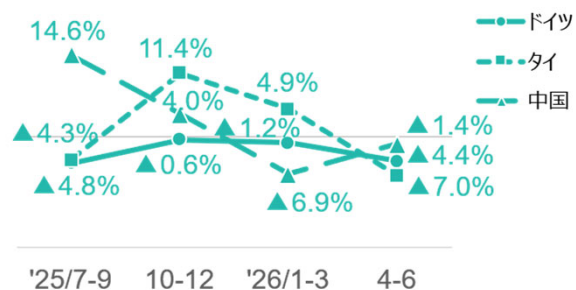
セグメント利益

	3ヵ月実績			実績累計		
	'26/5期	'27/5期	増減	'26/5期	'27/5期	増減
1Q	0	5	+4 + 437.5%			
2Q						
3Q						
4Q						
'27/5期 通期計画				0		

欧州子会社においてEVや卸・商社およびエンジニアリング分野の需要を取り込んだこと、タイ子会社において自動車分野の物量が増加したこと、さらに為替影響や地金価格に連動した販売価格の上昇により、売上高は前年同期比で増加となりました。営業利益においても売上高増加や欧州子会社の収益構造改革施策における固定費削減などにより、前年同期比で増加となりました。

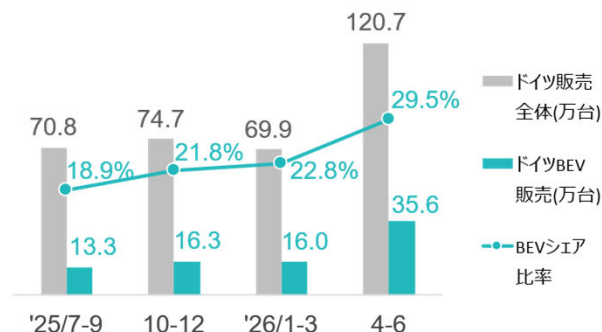
事業環境

自動車生産台数（前年同期比）



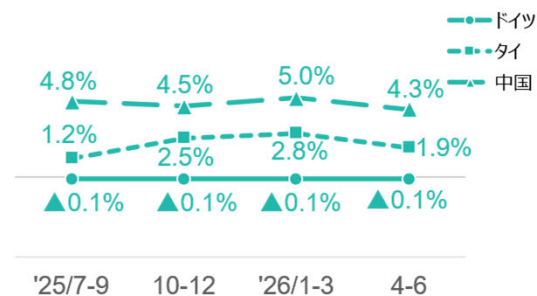
出典：VDA（ドイツ自動車工業会）、マークラインズ

ドイツ自動車販売台数およびEV販売台数・シェア



出典：KBA（ドイツ連邦陸運局）

GDP（国内総生産）（前年同期比）



出典：EUROSTAT、NESDC、CEIC

計画前提・実績

		期中 平均値	2026/5期 1Q実績	2027/5期 前提 (通期)	2027/5期 1Q実績
アルミ地金価格 (日本経済新聞)		6～8月	455.2円/kg	635.0円/kg	656.8円/kg
為替	ドル	4～6月	144.6円	160.0円	159.6円
	ユーロ	4～6月	163.8円	175.0円	185.4円
	バーツ	4～6月	4.4円	4.5円	4.9円
	元	4～6月	20.0円	23.0円	23.4円

サステナビリティビジョン2050

Life with Green Technology

～「環境技術でひらく、持続可能で豊かな暮らし」を実現する企業グループへ～

カーボンニュートラルへの挑戦

事業活動に伴う温室効果ガス排出削減と、環境技術で創出する商品・サービスによる温室効果ガス排出削減貢献とのバランスにより、カーボンニュートラルを目指します。

資源の循環

循環型社会の実現に向けて、主要原材料の循環使用の促進と、廃棄物の再資源化を推進します。

人財を未来へつなぐ

多様性や人権を尊重し人材育成を推進することで活力ある企業風土を創生し、豊かな暮らしを実現する原動力となる「人財」を未来につないでいきます。

2030年度目標

温室効果ガス排出量

Scope1+2 **50%減** (2017年度比)

Scope3 **25%減** (2022年度比)

対象：三協立山グループ

建材向け
アルミリサイクル率 **80%**

課題の対応により100%を目指す

女性管理職比率

10%

Scope1：自社での燃料の使用に伴う直接排出

Scope2：自社が購入した熱・電力の使用に伴う間接排出

Scope3：自社の事業活動の上流及び下流のプロセスでの排出

*1：個別製品ごとの指標を表すものではありません

*2：対象とする拠点は、国内製造拠点

*3：社内の製造工程で生じた端材を含みます

■ 本資料に関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、国内外の経済環境、為替相場の変動など様々な要因により、大きく変動する可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。